

日立市告示第 1 号

令和 7 年 1 月 1 0 日地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 7 4 条第 1 項の規定による日立市条例改廃請求を受理したので、地方自治法施行令（昭和 2 2 年政令第 1 6 号）第 9 8 条第 1 項の規定に基づき、日立市条例改廃請求代表者の住所氏名及び請求の要旨を下記のとおり告示する。

令和 7 年 1 月 1 0 日

日立市長 小 川 春 樹

記

1 請求代表者

日立市久慈町 4 丁目 5 番 1 1 号	鴨志田 征 央
日立市久慈町 3 丁目 2 7 番 1 号	三 代 喜 良

2 請求の要旨 別紙のとおり

以 上

日立市条例改廃請求書

日立市立学校設置条例改廃請求の要旨

1 請求の要旨

① 請求

令和6年3月29日公布の条例第10号「日立市立学校設置条例の一部を改正する条例」の一部「日立市立久慈中学校を日立市立松風中学校に改め、」を削除し、久慈中学校名を存続させること。

② 請求理由

- 令和4年6月に説明会を開催したというが、参加者が数名で開催案内もはっきりしなかったため、多くの住民が参加できる説明会の開催を依頼したが、学校名決定前までに実施されなかった。住民に詳細な情報提供もない中での学校名決定は、住民の合意に基づくものとはいえない。また、その進め方は学校再編計画で示した「地域とともにある学校づくり」等の方針に反する。
- 学校名募集では、多くの住民が「久慈中」と書いて応募したのに対して、教育委員会の「多数集まっても1件とする。」という説明は常識的におかしい。通常多くの人が提案した名称が採用されるだろうと考える。さらに、応募のあった学校名ごとの集計を公表しないのは透明性の欠如である。
- 577名が署名した「久慈中名の存続」の要望書は、統合準備委員会でも取り上げられず無視された。さらに署名活動は、教育委員会からの指示により途中で中止させられた。
- 委員の久慈中学校長が、生徒及び保護者に「久慈中」を避けた名称で応募する旨を口頭やメールで流布した。これは情報操作であり、募集の公正性に欠ける。教育委員会はそれを認知しており、誤った情報による応募を含む結果から導いた校名選定はおかしい。
- 統合準備委員会を非公開のうえ、委員には会議内容の守秘義務を課し、地域の声を代弁できない仕組みとしたため、会議に民意が反映されていない。また、依頼しても協議過程の情報を公表しないのは不自然である。
- 会議において、委員の学校長達が地域代表委員に対し、「反対勢力」等の発言を行い圧力をかけてきた。この言動は陵虐、誹謗であり、これによって他の委員でも萎縮や忖度が働き、公平な協議ができなかったとみられる。しかも教育委員会はこれを黙認していた。
- 久慈中及び坂本中の生徒及び保護者等から、「松風」は「娼婦」とローマ字表記での発音が同じで、いじめやいやがらせが懸念されるとの意見が多く出されたが、教育委員会は想定していなかったとの返答で、その後、体操着の校名表記にローマ字を使用しないのは、過失を認めている証である。

2 請求代表

茨城県日立市久慈町4丁目5番11号

生年月日 昭和42年11月22日 性別 男

鴨志田 征夫

茨城県日立市久慈町3丁目27番1号

生年月日 昭和32年8月5日 性別 男

三代 喜良

上記のとおり地方自治法第74条第1項の規定により別紙条例案を添えて条例の改廃を請求いたします。

令和7年1月10日

日立市長 小川 春樹 殿